

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		日常生活の指導	①道徳「きみのところをつよくするほん」（主婦の友社）		
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	156
1 学期授業時数					156
2 学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	180
2 学期授業時数					180

3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	84
3 学期授業時数					84
総授業時数					420

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		生活単元学習	①社会「子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー」（偕成社） ②地図「ドラえもんちずかん1 にっぽんちず」（小学館） ③理科「いかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた」（岩崎書店） ④職業・家庭「おてつだいの絵本」（金の星社）		
目標	（知）様々な体験や活動を通して、社会生活や集団生活に必要な知識や技能を身に付ける。 （思）身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解を深めるとともに、自分の考えを表現したり、選択したりする力を付ける。 （学）人や物と関わりながら、最後まで意欲的に学ぼうとする態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「新しい友達や先生、学校を知ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・1学期の行事等について ・学校の使い方、ルールについて ・教室の場所について	①	（知）学級のルールや学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 自分のことを学級の友達に紹介したり、友達のことを知ろうとすることができる。 校内の教室について、その役割や場所について理解することができる。 （思）行事の内容を理解し、自分で楽しい行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 校内の物品の使い方等について考えたり、自分の生活との関連について考えたりする。 （学）友達などに自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとするすることができる。 校内の教室について知り、積極的に利用しようとするすることができる。	学年 学級	5
	「新入生歓迎会」 ・準備、新入生歓迎会		（知）中学部の先輩等について知ることができる。 （思）自己紹介で自分のことを知ってもらうためにできることを考えたり、伝えようとするすることができる。 （学）中学部の生活に期待感をもつことができる。	学部 学級	2
	「育てて食べよう1」 ・畑作り、夏野菜の苗植え、観察記録、収穫	③	（知）野菜の育つ時期やシャベルなどの道具の扱い方、道具を使って耕す方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 （思）必要な道具を選択しながら活動することができる。 植物の成長について知り、植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気づき、成長の様子を表現することができる。 （学）畑での野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとするすることができる。	グループ 学級	9
	「校外学習に行こう」【校外学習】 ・交通ルールの確認、練習 ・行き先について調べる ・校外学習		（知）学校周辺において、地形や公共施設、公園などについて知ることができる。 （思）学校周辺の施設までの行き方等やその施設の役割等について考えることができる。 （学）学校周辺について興味をもつことができる。	学年 学級	7
	「調理をしよう1」 ・調理室の使い方について ・食器洗い等	④	（知）調理室の物品の使用法や場所について知ることができる。 （思）用具の安全な使い方について考えることができる。 （学）今後の調理実習に期待感をもつことができる。	学級	2
	「中学部まつりを頑張ろう1」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		（知）活動への見通しをもち、集団での簡単な役割について理解し、行動することができる。 （思）きまりを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現することができる。 （学）友達と協力することの大切さに気づき、より良い関係をつくろうとすることができる。	学年 類型 グループ	10
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、1学期の振り返り		（知）感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 （思）できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 （学）振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	4
1 学期授業時数					39

2 学 期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達などに自ら働き掛け、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとする事ができる。	学年 学級	3
	「中学部まつりを頑張ろう！」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		(知) 中学部まつりの流れに見通しをもつことができる。 (思) きまりを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現することができる。 場面にあった行動や表現をしようと考えることができる。 (学) 友達と協力することの大切さに気づき、よりよい関係をつくろうとすることができる。	学年 グループ 学級	8
	「不思議を見付けよう！」 ・天気の仕事		(知) 天気の仕事について知ることができる。 (思) 天気に応じた服装や行動を考え、新聞等にまとめて表現することができる。 (学) 天気によって服装や行動が変わることに気づき、適切な対応をしようとする事ができる。	グループ 学級	6
	「外国について知ろう！」 ・外国の食や住居について ・日本との違い	②	(知) 外国の文化について知り、日本との違いを知ることができる。 (思) 食や住居などについて日本のものと比較したり、体験したりすることで違いに気付いたり、感じたりすることができる。 (学) 学習したことを日常で生かそうとすることができる。	グループ 学級	7
	「調理をしよう2」【食育】 ・電子レンジやホットプレート、ケトル等を使用した調理	④	(知) 調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもつことができる。 電子調理器の使い方を理解し、安全に調理することができる。 (思) 安全に調理しようと心掛けたり、様々な調理の仕方を自分なりに工夫しようとする事ができる。 (学) 調理の工程や料理の出来上がり味、食べ方について関心をもち、自分で調理しようという意欲をもつことができる。	学級	8
	「運動会を頑張ろう！」 ・事前学習、招待状作り、ポスター作り ・事後学習		(知) 運動会の競技内容や日付、練習日程等が分かり、見本を参考に招待状を作ることができる。 運動会で友達と協力して頑張ったことが分かる。 (思) 頑張りたいこと等を表現したり、招待状作りで工夫して作成しようとする事ができる。 運動会で頑張ったことや感じたこと等を表現することができる。 (学) 運動会に向けて意欲的になったり、楽しみにしたりすることができる。 達成感を感じ、次の行事を頑張ろうとすることができる。	学級	4
	「チャレンジタイム！」 ・学級の実態に応じた指導 ・買物学習 ・お楽しみ会の準備、運営など		学級の実態に応じた指導目標	類型 学級	6
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、2学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (思) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	3
2 学期授業時数					45
3 学 期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について ・キャリアパスポートの活用		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達などに自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとする事ができる。	学年 学級	2
	「チャレンジタイム2」 ・学級の実態に応じた指導 ・自分や生命の誕生について ・体の仕組みについてなど		学級の実態に応じた指導目標	類型 学級	8
	「卒業生を祝おう！」 ・卒業生を送る会準備、卒業生を送る会		(知) 卒業する友達を知ることができる。 自分が卒業することを知ることができる。 (思) 卒業生に向けて、何ができるかを考えたり、伝えたりすることができる。 (学) 卒業生を祝う気持ちをもち、伝えることができる。	学部 学級	3
	「育てて食べよう2」 ・畑作り、じゃがいもの種芋植え、観察記録	③	(知) 野菜の育つ時期やシャベルなどの道具の扱い方、道具を使って耕す方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 (思) 必要な道具を選択しながら活動することができる。 植物の成長について知り、植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気づき、成長の様子を表現することができる。 (学) 畑での野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとする事ができる。	学級	3
	「1年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除 ・キャリアパスポートの活用		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (思) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	5
3 学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		作業学習			
目標	(知) 働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を知り、慣れることができる。 (思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。 (学) 働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業学習について知ろう」 ・作業学習の目的、内容の理解		(知) 作業学習がどんな学習か、体験を通して知ることができる。 (思) 体験を通して、自分ができそうなことや得意なことを発表することができる。 (学) 作業学習が将来働くことにつながることを理解し、今後の学習に期待感をもちことができる。	学級	3
	「作業を経験しよう1」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種類から一つを取り組む。それぞれの指導内容は、以下の通り。 【陶芸】 ・粘土を伸ばす、切り取る、整えるなどの基礎練習 ・小皿・箸置き作り（成形、やすり掛け、色付け） ・ラッピング ・振り返り 【手工】 ・ビーズ通し、刺し子、ステンシルなどの基礎練習 ・ランチマット作り、雑巾作り ・振り返り 【クラフト】 ・牛乳パックを使用した紙すき（はさみで切る、線を引く、ラミネートをはがす、紙をちぎる、シュレッダーをかける、ミキサーの使用、簡易紙すきキットの使用） ・紙すきはがきへの装飾 ・紙を使用した作業 ・振り返り <共通> ・準備、片付け ・掃除		【陶芸】 (知) 粘土を握ったり、道具を使って伸ばしたりすることができる。 (思) 道具の名称や安全な使い方、小皿の作り方などを知ることができる。 自分の得意な工程を見付けたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 【手工】 (知) 道具の名称や使い方を知ることができる。 (思) 自分の作業量を決めたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 静かに集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 【クラフト】 (知) 道具の名称や安全な使い方を知ることができる。 (思) 紙すきの方法や材料の加工の仕方を理解することができる。 自分の得意な工程を見付けたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 静かに集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。	学級 グループ	24
	「作業を経験しよう2」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1」で選択した種目以外の一つを取り組む（作業内容は、上記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択		12
	1 学期授業時数				
2 学 期	「作業を経験しよう2」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1」で選択した種目以外の一つを取り組む（作業内容は、上記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	18
	「作業を経験しよう3」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1・2」で選択した種目以外の一つを取り組む（作業内容は、上記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	27
2 学期授業時数					45

3 学 期	「作業を経験しよう4」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種 目から、一つを取り組む（作業内容は、上 記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	13
	「中2・3の作業を見学しよう」 ・ 中学部第2・3学年の作業学習の見学を する。 ・ 中学部マーケットに参加する。		（知）見学等を通して、来年度から作業の種目が変わることを 理解することができる。 中学部マーケットに参加することで、どんな製品を作っている のかを知ることができる。 （思）見学や中学部マーケットを通して、来年度やってみたい 作業種目について考え、発表することができる。 （学）見学や中学部マーケットを通して、来年度へ向けて期待 感をもつことができる。	学級	6
	「1年間を振り返ろう」 ・ 1年間で行った三つの作業種目について の頑張りを振り返る。		（知）一年間をとおしてできるようになったことを振り返り、 自分ができるようになったことが分かる。 （思）振り返りを通して、頑張ったこと等を考えたり、発表し たりすることができる。 （学）自分ができるようになったことから自己肯定感を高めたり、 2年生からの作業学習に期待感をもつことができる。	学級	2
3 学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		国語科 (A)	①ゆっくり学ぶ子のための「こくご」Ⅰ（改訂版）（同成社）		
目標	（知）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 （思）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「読み書き指導」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いたマッチングをする。	①	（知）写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 （思）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	個別	
Ⅰ 学 期	「いろいろな言葉を知ろうⅠ」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉（挨拶、動詞・名詞等）の学習を行う。	①	（知）身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思）日常生活でよく使われる表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	17.5
	「はがきに書こうⅠ」 ・暑中見舞い用のはがきに、文字を書いたり、文字シールを貼ったり、ハンコを押したりする。		（知）写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 （思）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
Ⅰ学期授業時数					19.5
2 学 期	「物語に親しもうⅠ」【読書指導】 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	（知）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思）教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10
	「いろいろな言葉を知ろう2」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・平仮名文字の読み書きをする。 ・日常生活で使用する言葉（挨拶、動詞、名詞等）を用いて、他者とやり取りの学習を行う。 ・シンボルマークや○や×、矢印等の簡単な記号を理解する。	①	（知）身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思）日常生活でよく使われる表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「はがきに書こう2」 ・年賀状（寒中見舞い）用のはがきに、文字を書いたり、文字シールを貼ったり、ハンコを押したりする。		（知）写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 （思）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
2学期授業時数					22.5

3 学 期	「いろいろな言葉を知ろう3」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・平仮名文字の読み書きをする。 ・日常生活で使用する言葉（挨拶、動詞・名詞等）を用いて、他者とやり取りの学習を行う。 ・シンボルマークや○や×、矢印等の簡単な記号を理解する。	①	（知）身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思）日常生活でよく使われる表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		国語科（B）	①こくご☆☆☆（東京書籍）		
目 標	（知）日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。				
	（思）出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。				
	（学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「読み書き指導」 ・平仮名、片仮名、漢字の読み書きをする。	①	（知）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 （思）書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	個別	
1 学 期	「いろいろな言葉を知ろう1」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。（清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など） ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。 ・かるた、絵カード取りをする。	①	（知）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 （思）日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	17.5
	「はがきに書こう1」 ・暑中見舞いの形式を知る。 ・はがきに文字を書いたり、絵を描いたりする。		（知）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 （思）見聞きたり、経験したりしたことから、伝えたいことについて、簡単な語句や文を書くことができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
1 学期授業時数					19.5

2 学 期	「物語に親しもう！」「読書指導」 ・物語の読み聞かせを聴く。 ・声に出して読み、登場人物や簡単な物語の内容を理解する。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	(知) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子を想像することができる。 登場人物になったつもりで、音読したり、演じたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	9
	「作文を書こう！」 ・学校生活の思い出についての短い作文を書く。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、伝えたい事柄の順序を考えたり、簡単な語句や文を書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
	「いろいろな言葉を知ろう2」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。(清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など) ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。 ・かるた、絵カード取りをする。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	9.5
	「はがきに書こう2」 ・年賀状(寒中見舞い)の形式を知る。 ・はがきに文字を書いたり、絵を描いたりする。		(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたいことについて、簡単な語句や文を書くことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
2 学期授業時数					22.5
3 学 期	「やり取りの学習をしよう！」 ・教師や友達に挨拶をしたり、簡単な問い掛けに答えたりする。	①	(知) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思) 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	4
	「いろいろな言葉を知ろう3」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。(清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など) ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。 ・かるた、絵カード取りをする。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	6.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		国語科 (C)	①国語☆☆☆☆ (東京書籍)		
目標	(知) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 (思) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「読み書き指導」 ・平仮名、片仮名、漢字、ローマ字の読み書きをする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くことができる。 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	個別	
1学期	「文学的文章に親しもう1」【読書指導】 ・物語や詩を読み、大まかな内容を理解する。 ・声に出して読み、登場人物や読み手の気持ちを想像する。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	(知) 話のまとまりに気を付けて音読したり、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解したりすることができる。 (思) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	17.5
	「はがきに書こう1」 ・暑中見舞いの形式を知る。 ・はがきの枠内に、丁寧に文字を書く。		(知) 書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使ったり、季節に応じた表現があることを知ったりすることができる。 (思) 伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
1 学期授業時数					19.5
2学期	「やり取りの学習をしよう1」 ・丁寧な言葉を使いながら、教師や友達からの質問に答える。	①	(知) 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	8
	「作文を書こう1」 ・学校生活の思い出についての作文を書き、発表する。	①	(知) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。 (思) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えたり、文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
	「説明的文章を読もう1」【読書指導】 ・説明文を読み、大まかな内容を理解する。 ・声に出して読み、作者の主張を読み取る。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	(知) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 話のまとまりに気を付けて音読することができる。 (思) 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「はがきに書こう2」 ・年賀状(寒中見舞い)の形式を知る。 ・はがきの枠内に、丁寧に文字を書く。		(知) 書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使ったり、季節に応じた表現があることを知ったりすることができる。 (思) 伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	2
2 学期授業時数					22.5

3 学 期	「手紙を書こう！」 ・手紙の書き方について知る。 ・家族や友達、お世話になった人に簡単な手紙を書く。	①	（知）書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 （思）相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 （学）言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	4
	「言葉遊びをしよう！」 ・早口言葉を言う。 ・なぞなぞに答えたり、作ったりする。 ・俳句を作る。	①	（知）自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり、作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 （思）相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。 （学）言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	6.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		数学科 (A)	①ゆっくり学ぶ子の「さんすう」2 (同成社)		
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「数と計算の学習をしよう1」 (数と計算) ・ 同じ・多い・少ないについての学習 ・ 1対1対応、1対多対応 ・ ものの数と数詞を対応させること ・ ものの数や数詞と数字を対応させること ・ ものを数えたり、書き表したりすること ・ 数の大きい小さいが分かること ・ 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・ 具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもつことができる。 (思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「図形の学習をしよう1」 (図形) ・ 色や形、大きさに着目して分類すること ・ ものを目的、用途及び機能に着目して分類すること ・ 丸、三角、四角という名称を知ること ・ 縦や横の線、十字、△や□を書くこと ・ 形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること		(知) 身の回りのものや形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして形の性質に気付く力を身に付ける。 (学) 図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	9
1 学期授業時数					19.5
2 学 期	「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算) ・ 同じ・多い・少ないについての学習 ・ 1対1対応、1対多対応 ・ ものの数と数詞を対応させること ・ ものの数や数詞と数字を対応させること ・ ものを数えたり、書き表したりすること ・ 数の大きい小さいが分かること ・ 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・ 具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもつことができる。 (思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう1」 (測定) ・ 長さ、重さ、高さ、広さなどの量の大きさの理解 ・ 二つの大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること ・ 生活経験や経験を通して、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、広い・狭いの用語の理解		(知) 身の回りにある具体物の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付ける。 (思) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を身に付ける。 (学) 数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	12
2 学期授業時数					22.5

3 学 期	「データを活用しよう！」 （データの活用） ・身近なものを目的、用途、機能に着目して分類 ・身近なものの色や形、大きさ、目的、用途に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること ・ものともとの対応させることによって、ものの同等や多少が分かること(例：コップと歯ブラシなど「組になるもの」) ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表に慣れること（例：的当てなど）		（知）身の回りのものや身近な出来事につながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付ける。 （思）身の回りのものや身近な出来事につながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を身に付ける。 （学）数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		数学科 (B)	①ゆっくり学ぶ子の「さんすう」3 (同成社)		
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技術を身に付けるようにする。 (思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学) 数学的な活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「数と計算の学習をしよう！」 (数と計算) ・20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べるたりすること ・数を2ずつや5ずつのまとまりで数えること ・数を10のまとまりで数えること、10のまとまりと端数に分けて数えたり書いたりすること ・具体物を分配したり等分したりすること	①	(知) 20までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、簡単な計算を解くための技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10
	「図形の学習をしよう！」 (図形) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと ・傾斜をつくると角ができることの理解 ・扇形の教材で学習 ・ミニカーを傾斜を変えて走らせること		(知) 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を身に付ける。 (学) 図形や数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	9.5
Ⅰ 学期授業時数					19.5

2 学 期	「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算) ・10の補数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数の加法の計算 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算 ・減法の求残や減少についての理解 ・減法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・20までの数の範囲で減法の計算		(知) 20までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、簡単な計算を解くための技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いられるながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう1」 (測定) ○身の回りのものの量の単位と測定 ・比べ方の学習(直接比較、間接比較) ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つかで大きさを比較すること ・0cmずつ切る学習 ○時刻や時間 ・アナログ時計、時刻の読み方 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係の理解 ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日の区別 ・タイマーの理解		(知) 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	12
2 学期授業時数					22.5
3 学 期	「データを活用しよう1」 (データの活用) ・ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること ・天気調べ、ボウリング遊び等 ・事柄の多少を棒グラフに表すこと		(知) 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
中学部 第1学年 単一類型		数学科 (C)	①数学☆☆☆☆ (教育出版)			
目 標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。					
	(思) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。					
		(学) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「数と計算の学習をしよう5」 (数と計算) 整数の表し方 ・まとまりに分割して数える(千まで)こと ・分類(色や形、位置、種類など)して数えること・3位数の表し方についての理解 ・数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについての理解 ・数直線上の目盛を読んだり、理解すること ・一つの数をほかの数の積として考えること 整数の加法及び減法 ・3位数並びに4位数の加法及び減法の計算並びに筆算 ・加法及び減法に関して成り立つ性質についての理解 ・計算機の使用	①	(知) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。 (思) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。 (学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10	
	「図形の学習をしよう1」 (図形) ・直線、三角形、四角形、正方形、長方形及び直角三角形について知ること ・正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解すること ・直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること ・図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすること ・物差しやコンパスなどを使用した作図 ・正方形、長方形及び直角三角形を書いたり、作ったり、それらを使って平面に敷きつめたりすること ・平面を組み合わせて、立体を作ること	①	(知) 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付ける。 (思) 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を身に付ける。 (学) 図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	9.5	
Ⅰ学期授業時数					19.5	

2 学 期	「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算) 整数の乗法 - 乗法が用いられる場合や意味について知ること - 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること - 乗法に関して成り立つ簡単な性質の理解 - 九九について知り、1位数×1位数ができる - 九九について知り、1位数×1位数の計算をすること	①	(知) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。 (思) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を身に付ける。 (学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう1」 (測定) 量の単位と測定 - 目盛の原点を対象の端に当てて測定すること (mm, cm, m) や (g, kg)、(ml, dl, L) について知り、測定の意味を理解すること - 長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること 時刻と時間 - 時間の単位(秒)について知ること - 日常生活に必要な時刻や時間を求めること - 時系列の整理(文を見て、時刻を表すなど) - カレンダー学習(今日、今週、今年などの理解)	①	(知) 身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を身に付ける。 (学) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	12
2学期授業時数					22.5
3 学 期	「データを活用しよう1」 (データの活用) - 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること - 天気調べ、気温調べ、体力づくりの記録、ボウリング遊び、アンケート集約等 - 事柄の多少を棒グラフに表すこと	①	(知) 身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。 (学) データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部第Ⅰ学年 単一類型		音楽科	①音楽☆☆☆☆（東京書籍）		
目標	（知）曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 （思）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。 （学）進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコーソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 （表現「歌唱」「身体表現」） ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通した友達との関わり合い	①	（知）曲名や曲想の雰囲気と音楽の構造などとの関わりに関付き、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 （思）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができる。 （学）進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う身に付ける。 【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達の段階に応じた、日常生活に関連した曲 「茶つみ」（文部省唱歌） 「うさぎ」（日本古謡） 「ふじ山」（文部省唱歌） 「子もり歌」（文部省唱歌） 「さくらさくら」（日本古謡） ※ 1曲以上適切に取り扱うようにする。	グループ 学級	
Ⅰ学期	「校歌を知ろう」 （表現「歌唱」） ・本校の校歌の歌詞の理解と歌唱		（知）校歌の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に関付き、発声の仕方に気を付け、友達と合わせることを意識して歌うことができる。 （思）校歌の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学）校歌を斉唱する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	1
	「リズムに親しもう！」 （表現「音楽づくり」） ・特徴的なリズムと旋律を意識した歌唱 ・簡単な拍打ちやリズム打ちの練習 ・リズムや速度を意識した演奏 ・身の回りの音、簡単なリズム・パターンを取り入れた音楽づくり	①	（知）いろいろな音の響きや、リズム・パターンや短い旋律のつなげ方が生み出す面白さに関付き、発想を生かし、思いや意図に合った表現をすることができる。 （思）リズムの学習活動を通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得るとともに、音を音楽へと構成することに思いや意図をもつことができる。 （学）リズムの学習活動で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	10
	「たのしくコンサート！」 （鑑賞） ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	（知）曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 （思）曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。 （学）鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
Ⅰ学期授業時数					13

2 学 期	「みんなで演奏しよう！」 (表現「器楽」) ・楽器の演奏の練習 ・友達に合わせることを意識した演奏 ・伴奏に合わせた打楽器や旋律楽器での合奏	①	(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付き、リズムや速度を意識して、音を合わせて演奏することができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 友達と演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を身に付ける。	グループ 学級	12
	「たのしくコンサート2」 (鑑賞) ・たのしくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見付けて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものになろうとする態度を身に付ける。	グループ 学級	3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「楽器に親しもう」 (表現「器楽」) ・音階や楽器の音色の違いについての理解 ・様々な打楽器や旋律楽器の演奏の体験 ・自由演奏や簡単なリズム打ちの練習 ・伴奏に合わせた演奏	①	(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付き、和音としての響きや旋律を奏でる楽しさを味わうことができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 楽器を演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を身に付ける。	グループ 学級	4
	「卒業証書授与式の歌を練習しよう！」(学部、学年、学級) (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習	①	(知) 曲の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に気付き、友達と合わせることを意識し、思いや意図にふさわしい動きで表現することができる。 (思) リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、歌唱や身体表現について思いや意図をもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を身に付ける。	グループ 学級	1
	「たのしくコンサート3」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見付けて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものになろうとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		美術科	①美術「あそびの絵本 えのぐあそび」（岩崎書店）		
目標	（知）造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 （思）造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 （学）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「Tシャツのデザインをしよう」（ステンシル）」 ・ステンシルの技法の理解 ・紙や布を使った技法の練習 ・複数の画像や絵などから図柄の選択 ・デザインの検討、下描き ・ステンシルの技法を用いた模様の描画 ・作品の鑑賞		（知）ステンシルの技法を理解したり、Tシャツにステンシルをしたりすることができる。 （思）ステンシルの技法を使い、自分で決めたデザインを表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）Tシャツ作りを通して、ステンシルの技法を使って創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	8
	「描画について知ろう」 ・道具の使い方 ・イラストに合った具体物や人を参考にした描画 ・対象の観察、形や色の特徴の捉え ・鉛筆やペン、クレヨンを使った輪郭の描画 ・クレヨンや絵の具などの選択した色を用いての着色 ・混色について ・作品の鑑賞 ・片付けの仕方	①	（知）見本となるイラストを見て、大まかに輪郭や形を捉えながら、描画用具を使用して模写をすることができる。 （思）描きたいイラストを自分で選択し、彩色する色や描画用具を考えながら表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。	学級	5
1 学期授業時数					13
2 学 期	「思い出を表現しよう」 ・写真や映像での振り返り、描画する場面の選択 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動（混色の体験を含む） ・作品の鑑賞	①	（知）テーマに沿った写真を見て、色や形を捉えながら、描画用具を使用して絵を描くことができる。 （思）自分の描きたい場面の写真を選択し、彩色する色や描画用具を考えながら表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 （学）楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。	学級	7
	「モザイクで表現しよう」 ・モザイクの技法の理解 ・デザインの検討、下描き ・材料の準備（モザイクタイルを手や金づちで割る、砕く） ・接着剤を使ってコルクボードへの貼り付け ・作品の鑑賞		（知）モザイクの全工程を理解したり、デザイン画をもとにモザイクタイルを貼ったりすることができる。 （思）自分でデザインに合わせてモザイクタイルを割り、貼ることができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 （学）モザイクの技法で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	8
2 学期授業時数					15
3 学 期	「紙粘土で作ろう」 ・立体作品（ペン立てなど）の制作 ・粘土の操作（ちぎる、丸める、伸ばす、へらの操作など） ・テーマ、デザインの検討 ・紙粘土を用いての立体表現、着色 ・作品の鑑賞		（知）へらや伸ばし棒の扱い方を理解し、粘土を切り取ったり、伸ばしたりすることができる。 （思）経験したことや思ったことなどから、作品のイメージをつくり、それを作品作りに生かすことができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 （学）粘土で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		保健体育科（ぐんぐんグループ）	①改定新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう（ひかりのくに）		
目標	（知）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 （思）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 （学）各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「自分の体を知ろう」 「病気を予防しよう」 （保健） ○自分の体についての理解 ○けがの防止についての理解 ・運動の前後の体操 など ○病気の予防の仕方についての理解 ・着衣の調節 ・バランスのとれた食事 ・身体及び身の清潔 など ○自分の健康・安全 ・消毒薬や体温計の使用 ・薬の服用 ・生活リズム ・生活環境の整備	①	（知）体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付ける。 （思）自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を身に付ける。	グループ 学級 個別	
Ⅰ 学 期	「集団で運動するときのきまりを知ろう」 （体づくり運動） ○集団行動、体力テスト ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・握力 ・反復横跳び ・長座体前屈 ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン ・立ち幅跳び ・上体起こし など		（知）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 （思）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。	グループ 学級 個別	4
	「器械運動Ⅰ」 （器械運動） ・マット運動（前転、手押し車、V字バランス） ・跳び箱（またぎ越し、開脚跳び、かかえこみ跳び乗りなど） ・平均台（後ろ歩き、障害物をまたぐ・くぐる、ポーズを取るなど） ・鉄棒 ・発表会		（知）器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付ける。 （思）器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。	グループ 学級 個別	6
	「運動会練習Ⅰ」 ○運動会練習（グループ種目練習） ・10月の運動会に向けての実態把握		（知）ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動をすることができる。	グループ 学級 個別	1
	「水泳Ⅰ」 （水泳運動） ○水泳 ・準備運動 ・水中歩行 ・輪くぐり ・バタ足 ・蹴伸び ・クロール ・アクアビクス など		（知）初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付ける。 （思）初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学）初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。	グループ 学級 個別	2
Ⅰ学期授業時数					13

2 学 期	「水泳Ⅰ」 (水泳運動) ○水泳 (Ⅰ学期と同内容)		Ⅰ学期と同目標	グループ 学級 個別	2
	「運動会練習Ⅰ」 ○運動会練習 (今年度は、フラッグを行 う。) (種目については、フラッグ演技、エイ サー、フラフープを3年間でローテーショ ンする。) ・種目練習		Ⅰ学期と同目標	グループ 学級 個別	6
	「球技Ⅰ」 (球技) ○球技 (ゴール型、ネット型、ベースボー ル型) ・ボールを使った体ほぐし運動 ・ドリブル ・パス ・パス回し ・シュート ・ミニゲーム ・ルールの確認 ・攻撃・守備の役割		(知) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本 的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことが できる。 (思) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための 活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることがで きる。 (学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、 友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで 楽しく運動することができる。	グループ 学級 個別	7
2 学期授業時数					15
3 学 期	「体づくり運動Ⅰ」 (体づくり運動・陸上運動・ダンス) ○体づくり運動 ・ダンス ・縄跳び ・持久走		(知) 体を動かす楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、 基本的な動きや技能を身に付ける。 (思) 体を動かすことについての自分の課題を見付け、その解 決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝え ることができる。 (学) 体を動かすことに進んで取り組み、きまりを守り、友達 と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽し く運動をすることができる。	グループ 学級 個別	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		保健体育科（のびのびグループ）	①改定新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう（ひかりのくに）		
目標	（知）基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。 （思）基本的な運動の楽しみ方や健康な生活について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。 （学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「自分の体を知ろう」 「病気を予防しよう」 （保健） ○自分の体についての理解 ・身体の成長 など ○健康な生活についての理解 ・病気やけが、体調の変化 など	①	（知）健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付ける。 （思）健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 （学）自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を身に付ける。		
Ⅰ学期	「集団で運動するときのきまりを知ろうⅠ」 （体づくり運動） ○集団行動 ・集合、整列 ・ラジオ体操		（知）基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 （思）基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 （学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付け器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。	グループ 学級 個別	5
	「器械・器具を使つての運動Ⅰ」 （器械・器具を使つての運動） ○様々な運動領域を取り入れたサーキット運動 ・マット（横転、前転、手押し車など） ・平均台（障害物をまたぐ・くぐる、前・横歩きなど） ・跳び箱（またぎ越し、開脚跳びなど） ・ゴム跳び ・ケンケンパ ・ミニハードル ・ラダー ・ユニジャンプ ・蛇腹トンネル ・太鼓橋 ・ウレタンマット ・ボール入れ など		（知）器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 （思）器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 （学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようすることができる。	グループ 学級 個別	6
	「水泳Ⅰ」 （水の中での運動） ○水泳 ・準備運動 ・水中歩行 ・輪くぐり ・バタ足 ・アクアビクス など		（知）水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 （思）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。 （学）初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	グループ 学級 個別	2
Ⅰ 学期授業時数					13

2 学 期	「水泳Ⅰ」 (水の中での運動) ○水泳(Ⅰ学期と同内容)		Ⅰ学期と同目標	グループ 学級 個別	2
	「運動会練習Ⅰ」 (走・跳の運動・表現運動) (今年度は、体づくり運動を行う) (器械・器具を使つての運動、ボールを使つた運動やゲーム、体づくり運動をローテーション)		(知) 基本的な運動や表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 (思) 基本的な運動や表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な運動や表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	グループ 学級 個別	6
	「ボールを使った運動Ⅰ」 (ボールを使った運動やゲーム) ・ボールを使った体ほぐし運動 ・ドリブル ・パス ・パス回し ・キャッチ ・シュート		(知) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	グループ 学級 個別	7
2 学期授業時数					15
3 学 期	「体づくり運動Ⅰ」 (体づくり運動・表現運動) ○体づくり運動 ・ダンス ・フラフープを使用した運動 ・棒体操 など		(知) 基本的な体づくり運動や表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 (思) 基本的な体づくり運動や表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動や表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	グループ 学級 個別	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等		教科書	
中学部 第1学年 単一類型		保健体育科（体力づくり）			
目標	（知）継続して体を動かす活動を通して、筋力や持久力などを高めるとともに、健康を保持するための運動習慣を身に付ける。 （思）自分の体についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 （学）各種の運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「しっかり体を動かそう！」 ・ラジオ体操 ・トラック走（目標周回数や目標時間を決 めてのランニング・ウォーキング） ・ミニハードル、ゴム跳び ・ダンス、エアロビクス ・腹筋運動、背筋運動、腕立て伏せ ・エアロバイク ・縄跳び ・ストレッチ など 上記の例の中から実態に応じて選択す る。		（知）継続して体を動かす活動を通して、筋力や持久力などを高めるとともに、健康を保持するための運動習慣を身に付ける。 （思）自分の体についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 （学）各種の運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。	学級 個別	19.5
		1 学期授業時数			19.5
2 学 期				学級 個別	22.5
		2 学期授業時数			22.5
3 学 期				学級 個別	10.5
		3 学期授業時数			10.5
		総授業時数			52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		自立活動			
目標	学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	○健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5) 健康状態の維持・改善に関すること。 ○心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること。 (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。 ○人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。 ○環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること。 (2) 感覚や認知の特性への対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 ○身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4) 身体の移動能力に関すること。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 ○コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。 6項目27区分から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて設定した指導内容		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	45.5
1 学期授業時数					45.5
2 学 期	1 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	52.5
2 学期授業時数					52.5
3 学 期	1 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	24.5
3 学期授業時数					24.5
総授業時数					122.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 単一類型		総合的な学習の時間			
目標	(知) 社会を取り巻く事象や地域社会、働くことについて、興味・関心をもったり、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けたりする。 (思) 自分たちが活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり表現したりする。 (学) 自分で判断し、行動する意識を高めるとともに、他者と協働して課題を解決しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「総合的な学習の時間について知ろう」 ・オリエンテーション		(知) 総合的な学習の時間で行う内容を知ることができる。 (学) 総合的な学習の時間について、期待感をもつことができる。	学級	1
	「身近なものについて調べよう」【探究的な学習】 ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現		(知) 本や資料、情報機器等を通して、情報を収集する方法を理解することができる。 (思) 目的に応じて収集した情報を、整理・分析し、他者に伝えるようまとめ、表現することができる。 (学) 情報の収集方法について主体的・協働的に取り組むとともに、各媒体の良さを生かしたり、自分に合った媒体を使用したりして、収集した情報を積極的に発信することができる。	学級	10
	「平和について考えよう1」 ・身近な平和について		(知) 友達との関わりで、良い関わりとそうでない関わりについて知り、適切な関わり方を身に付けることができる。 (思) 友達との関わりについて、伝え方や態度などで良い方法を選択したり、考えたりすることができる。 (学) 身近な人との関わりにおいて、適切な方法で関わりをもとうと意識することができる。	学級	2
1 学期授業時数					13
	「地域について調べよう1」【探究的な学習】 ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現		(知) 地域についての事柄や課題に関する探究的な学習を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思) 地域についての課題を見つけ、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学) 地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	学級	12
	「高等部について知ろう」【進路学習】		(知) 高等部について、興味・関心をもち、知ることができる。 (思) 高等部について、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	3
2 学期授業時数					15
3 学期	「校内で働く人にインタビューしよう」【進路学習】 ・インタビューを行う人や日程について知る。 ・内容や役割を決める。 ・練習を行う。 ・インタビューを行う。 ・内容を振り返り、新聞等にまとめる。 ・新聞等の交流・発表を行う。		(知) 働くことについて、興味・関心をもち、集団の一員としての役割を理解する。 (思) 将来に対する漠然とした夢やあこがれ抱くとともに、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自分の良さや個性が分かり、自己と他者の違いに気づき、尊重しようとしながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35